■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026 年 9 月 18 日

□S 造・階段エリア

（参加者 A）

・フラットデッキやニューフェローデッキ、免震装置など、着任先でタイムリーに扱っている内容を多く見ることが出来たので、特に印象に残った研修項目だった。鉄骨にはデッキの嵩上材やスタッドボルト、エレクションピース、養生ネット用フック、設備スリーブなど、仕込みものが仮設から下地、設備関係まで多岐にわたることを目の当たりにした。図面の早期確定に向け、鉄骨に関する検討を事前に十分に詰めておく必要があると感じた。

（参加者 B）

・鉄骨の細かい部材の名称が知れて良かった。(エレクションピース等)

・構造デッキ、型枠デッキをより詳しく知ることができた。

・施工図業務ではなかなか見ることのできない免震装置のモックアップを見れたのはとても良い経験だと思った。

（参加者 C）

合成デッキ、フェローデッキなどの型枠も構造体となるデッキとフラットデッキ等の種類があることは理解していたが、施工された実物を左右見比べながら説明頂けたことで、さらに理解を深めることができた。合成デッキでは、デッキの谷側にしかインサートを入れることができないと説明を聞き、インサートの位置を計画する際には留意しなければいけないことを認識することができた。また、柱の溶接等を行うために柱廻りに「コラムステージ」を設けることやコラムステージを設けるために柱にピースを仕込む必要があることを初めて知ることができた。その他にも CFT 柱のコンクリート注入口やダンパー・免震装置なども見学することができ、図面を描いている中ではなかなか体感できない実際のサイズ感なども認識することができ、勉強になった。

□RC 造・EV エリア

（参加者 A）

フーチングや地中梁の配筋のタイミングは施工図員では見ることが出来ないと思うので写真に残せたのも含めて良いモックアップだった。バルコニーのスラブ配筋と RC 壁の型枠を見たときに、レベル管理や不陸などコンクリートの精度を確保することが容易ではないと実感した。仕上げの図面でもコンクリートの施工精度も考慮して検討する必要がある。

（参加者 B）

・普段の業務では鉄筋納まり図を作図・検討した事がほとんどないためモックアップを見ながらの説明は頭に入りやすく、とても良い勉強になった。

・基礎、柱、梁の接合部等写真を撮るポイントを教えていただいたので見返したり、日頃の業務の参考にもなりとても貴重な経験だと感じた。

・鉄筋納まりをイメージしながら躯体図作図をすることが重要なことを知り一つレベルアップできたと思った。

（参加者 C）

RC 造の配筋を身近で見る機会が無かったため、とても貴重な経験だった。梁もスラブも配管等貫通がある際には配筋を避けて計画しなければならないこと知り、配筋の理解がかなり重要ということを学ぶことができた。また、関東と関西で型枠に用いる下地の種類が異なることも知ることができ、面白いと感じた。

□外装・屋上エリア

（参加者 A）

ALC・ECP・サンドイッチパネルの外装モックアップを実際に見ることが出来るスポットがあり、施工の理解を深めることが出来る点は良かったが、時間が限られていたため ALC・ECP の下地取合いなどを詳しく確認する時間がもっと欲しかった。屋上では押えコンの伸縮目地やドレンへの水勾配などをモックアップではなく完成した建物として確認でき、実際の納まりを学ぶことが出来た。

（参加者 B）

・ALC、ECP などの断面をモックアップで見たことはなかったので、水抜きパイプなど製作図で見るより詳細に断面内部の情報を知ることが出来た。

・屋上防水の排水ルートについて、ドレンにむかって排水ルートを確保するため設備の基礎で水がたまりやすい箇所は山形に勾配をつくるなど工夫しており実際足で踏んでみて勾配ルートをイメージできたので図面を描く際に参考にしようと思った。

（参加者 C）

外装材は今までの経験では ALC の使用だったため、ALC 以外にも ECP・サンドイッチパネルの種類があることを知ることができた。ALC も縦貼り・横貼りの違いがあることや、ECP やサンドイッチパネルの断面構成なども実際にモックアップを見ながら説明頂けたことで、さらに理解を深めることができた。実際に屋上に出て説明頂いたことで、屋上一つでも施工図側で検討しなければならない項目が多くあることを理解できた。(設備基礎・スラブの勾配設定・雨水配水計画等)

□内装エリア

（参加者 A）

乾式の壁や天井をスケルトンの状態で見ることができ、仕上げの裏側に下地がどう存在しているかを確認できた。普段、設備絡みは意識できていない部分が多いので、スケルトンになっていることでインサートの仕込位置や LGS のスタッド位置など、仕上げとの取合いとして必要な調整について理解を深めることが出来た。

（参加者 B）

・内装関係について知識にあまり自身がなかったが、質問をする機会を多くもうけていただいたり、丁寧に解説していただいたりしたので、参加している感じがありとても良い講義だった。

・乾式壁のモックアップでは設備工事のコンセントの裏ボックスをかわした位置に LGS が配置してあったり、普段立面図を書くうえで壁内部の納まりがあまりイメージできていなかったので次回からは内部の納まりをイメージしながら作図しようと思った。

・建具の乾式固定方法「スマートアンカー」は知らなかったので新たな知識が増えて良かった。

（参加者 C）

現在の業務で主に平面詳細図の修正を行っているため、実際に機械室や天井内、壁内の納まりを説明頂きながら見学することができ、勉強になった。断熱材は図面に反映したことはあったが、しっかりと物を認識できていなかったと感じた。施工時にピンで刺して必要な厚みが確保できているか確認する点も知らなかったため、実際に見学でき理解を深めることができた。また、トイレのライニングの説明では、壁にライニングを固定するために下地材を仕込む認識はあったが、区画のボードの際にはボード内にベニヤを仕込むことはできない点は認識がなかったため、勉強になった。壁に取りつくスイッチやコンセントの施工についても今まであまり深く考えたことが無く、スタッドから空のボックスを支持し、後から配線が通るように配管が仕込まれていることも実際に見学できたことで初めて知ることができ、勉強になった。

□全体

（参加者 A）
普段の業務にて図面上で扱っていた項目を実際にモックアップで確認することで、ディテールやスケール感、質感などをより深く理解することができ、非常に有意義な経験となった。実際の現場で経験したことのある内容も多く、4～6 年目程度の若手社員にとって、実務と照らし合わせながら学ぶことのできる良い研修施設だと感じた。また、写真に残すことができたため、まだ経験していない内容についても今後見返すことができる点が良かった。今回の研修を通して現場への理解が深まり、今後の業務に対する姿勢や図面を見る視点も少しずつ変わっていくだろうと感じた。

（参加者 B）
座学メインではなくモックアップを見ながらの勉強会だったので頭に入りやすく、また普段の業務では現場に出て実物を見る機会がほとんどないためとても貴重な経験をさせていただいたと感じました。
写真撮影も OK で、撮影するポイントを教えていただき、今後の業務で図面を書く際に見返したりするなどして生かしていこうと思います。
他社の同じくらいの経験者の方々も多かったので、同じ講義で質問も様々なものがあり良い意味で刺激があり良かったです。
講師の方々も優しく、丁寧に教えていただける方ばかりでしたので質問もしやすくリラックスした状態で参加できました。

（参加者 C）
実際の施工段階を見学しながら一日で仕上から躯体まで幅広く勉強することができたため、とても身になる研修会だと感じた。普段の業務で CAD を操作している中では、実物の実感やサイズ感など意識するのが難しく、また現場見学に行く機会も少ないため、今回の研修を通して多くの知識を得ることができた。今回の研修で学んだことを思い出し、今後の業務にも生かしていきたいと思う。

□その他感想や要望等自由記入

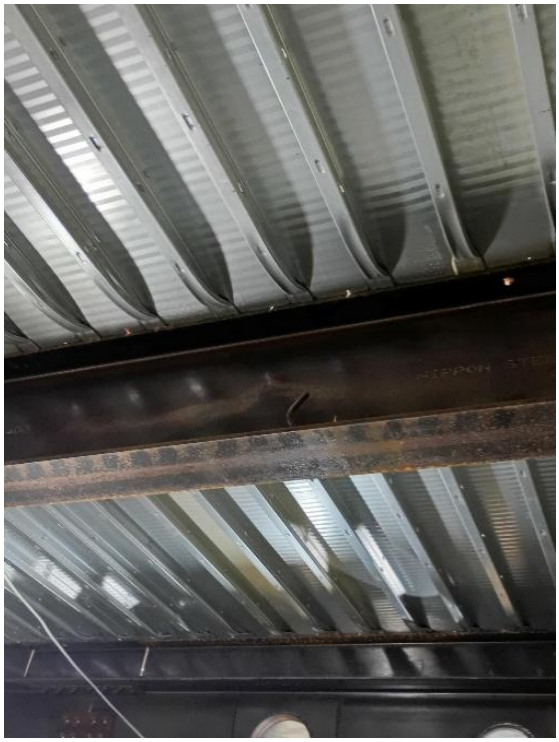
（参加者 A）
研修と通して、実際の施工や納まりを確認することができ、とても良い経験になった。限られた時間の中で多くの項目を扱うため、やや急ぎ足になる場面や質問の時間が少ない点もあった。学ぶ項目を絞り、一つひとつをより深く確認・理解できる研修内容にするのも良いと感じた。

（参加者 B）
貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。
他社の方々と協力して一つの課題をクリアするなどの会があっても刺激があり良いのかなと思いました。

（参加者 C）
近い経験年数の方が多かったため、他社の方の研修会に参加している姿勢や感想などを聞き、自分自身もっと経験を積んで知識を増やしていきたいと感じた。とても刺激になる研修会に参加できてよかった。

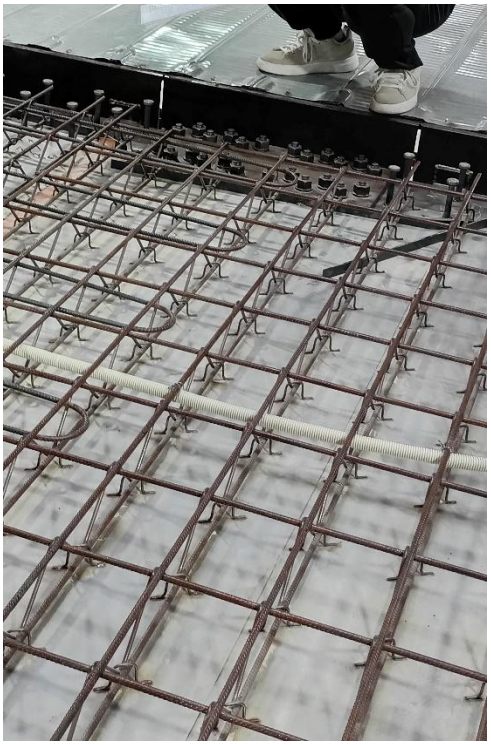
■写真（コメント等自由記載）

□S 造・階段エリア

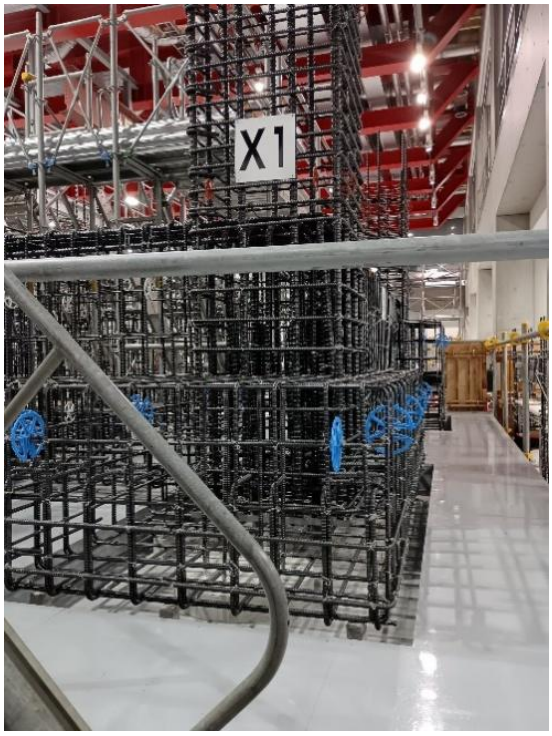


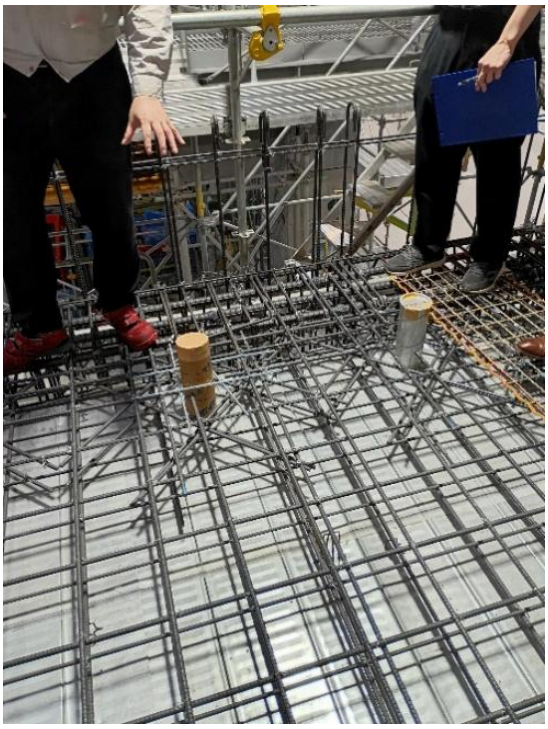






□RC 造・EV エリア









□外装・屋上エリア









□内装エリア







